

# 海上の森自然観察会

テーマ 木の実を味わってみよう

日時 2014年10月18日(土) 10:00~14:30(快晴)

参加者 一般:5名(子ども0) 指導員:7名

快晴に恵まれた絶好の行楽日和で、海上の森の駐車場にはたくさんの車が止まり、ハイキングに向かう大勢の人たちに出会いました。秋は稔りの季節ということで、テーマは木の実です。ただ、今年はこの森のエゴノキやケケンボナシの実が付いていないことが分かっています。木の実がたくさんなる年の翌年にはほとんど実を付けないことがあり、今年はどうも裏年のようです。岐阜県などでは山にドングリなどが少なく、餌を求めてクマが里に出没することが心配されているとのこと。

色づき始めた木々を見ながら、四ツ沢から篠田池方面に向かいました。四ツ沢ではオケラの花が咲いていましたが、先月きれいに咲いていた株は残念なことに盗掘されてありませんでした。心ない人がいるものです。その近くでミツバアケビの実を見つけました。ちょうど食べごろに熟したものや、既に中の美味しいところを鳥に食べられたものもありました。ミツバアケビの実はその後所々で見かけましたが、高い位置に付いていて賞味することはできませんでした。四ツ沢から少し行った所でヌマダイコンの花を見ました。ずいぶん立派な株でした。

篠田池付近ではマユタテアカネ、コノシメトンボといったアカトンボの仲間が見られました。池では連結産卵中のコノシメトンボの姿もありました。捕獲してヒメアカネとの違いを確認しました。その後、近年、数が減っていると言われているアキアカネの姿も見ることができました。

海上の里のサテライトで休憩後、少し回り道をしてセンブリとアケボノソウを見に行きました。センブリは例年より少し早い開花でちょうど見頃に咲き、アケボノソウは既に花が終わりかけでした。アケボノソウの近くでは幸運にもナギナタコウジュの花が見られました。

さて、テーマとなった木の実ですが、昨年にはたくさん見られたカマツカやガマズミの仲間の実は結局見られず、ムラサキシキブやヤブムラサキの実もわずかに見られただけでした。食べてもらおうと思っていたズミやヤマボウシも実が付いていなくて、結局、食べられたのはナツハゼが少々という結果になってしまいました。今年は全般に木の実の付きが悪いことが分かった観察会でした。(報告:齋竹善行)

## <その他観察できたもの>

植物 [実]: ガガイモ、ヤマブドウ、ノブドウ、ヤマノイモ、オニドコロ、イタドリ、クサギ、ヒヨドリバナ、ヒヨドリジョウゴ、ウメモドキ、ヨウシュヤマゴボウ、センニンソウ、ヒサカキ、ゴンズイ、テイカカズラ、トキリマメ、アオツツラフジ、ムラサキシキブ、ヤブムラサキ [花]: スズカアザミ、ノコンギク、ツルニンジン、ヤマシロギク、セイヨウタンポポ、セイタカアワダチソウ、キダチコンギク、ヤブタバコ、コメナモミ、チャ、コウヤボウキ、シュウブンソウ、アキノキリンソウ、ヤクシソウ、ツルリンドウ、ツルグミ、コセンダングサ、アキノノゲシ、ツリガネニンジン、シンミズヒキ、ゲンノショウコ、シラヤマギク 野鳥: モズ、シジュウカラ、カケス、ヒヨドリ、ハシブトガラス、ヤマガラ、メジロ、ウグイス(声) 昆虫: ウスバキトンボ、オオアオイトトンボ、コムスジ、キタキチョウ、ウラギンシジミ、テングチョウ、イカリモンガ、ヒメクチナガガガンボ、オオカマキリ



観察会のようす



センブリの花